REC NEWS LETTER

Vol.71

発行日：2012 年 11 月 27 日
Ryukoku Extension Center

お知らせ 「プレゼン龍 2012」12/8 開戦！～ぜひご来場ください～ 高校生アイデアコンテストや起業家講演会も開催

龍谷大学のビジネスプランコンテスト「プレゼン龍（ドラゴン）」を 12 月 8 日に深草キャンパスで開催します。第 12 回を数える今大会には 23 件のエントリーがあり、書類選考、面接選考を勝ち抜いた 6 チームが出場権を得ました。6 チームはグランプリをかけてビジネスプランをプレゼンテーションで競います。

当日は高校生ビジネスアイデアコンテストの優秀者 5 人による最優秀賞決定をめざしたプレゼンや、本学卒業生の起業家、石塚昌博氏（株式会社ニューロン・エイジ代表取締役）による講演会も行います。

本コンテストでは、会場の観戦者による投票で決定する「オーディエンス賞」を設けています。龍大生が考えるビジネスプランとは？どんなプレゼンテーションが行われるのか？ぜひゼミ生とともに会場で一票を投じてください。

◆日時：2012 年 12 月 8 日（土）13:00（開場 12:30）～17:00
〇出場者・観戦者交流会 17:30　～19:00

◆場所：龍谷大学深草キャンパス 22 号館 301 教室
〇交流会は 4 号館地下食堂

【問い合わせ先】プレゼン龍学生実行委委員会
presendragon@ad.ryukoku.ac.jp



「プレゼン龍 2011 」の様子

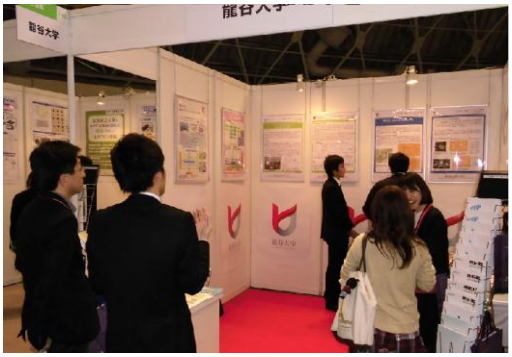
ご報告 産官学連携事業「びわ湖環境ビジネスメッセ」に、理工学部　浅野研究室、市川研究室が出展しました！

2012 年 10 月 24 日(水)～10 月 26 日(金)の 3 日間、長浜ドーム、長浜ロイヤルホテル、長浜バイオ大学にて、滋賀環境ビジネスメッセが主催する「びわ湖環境ビジネスメッセ」が開催されました。本学からは、REC の事業紹介、理工学部環境ソリューション工学科 浅野研究室による「プラズマと光触媒を併用した排水処理技術の開発」、市川研究室による「構造物による大気汚染浄化作用」について、本学ブースにて展示、紹介しました。

例年同様、本学ブースには多くの方の来場があり、会期を通して活況でした。市川研究室の学生 2 名も当イベントに参加し、積極的に研究内容の PR や来場者応対を行いました。

「びわ湖環境ビジネスメッセ」は、滋賀をはじめ関西への大学の PR、及び産学連携に繋げるための場として大きな可能性を持つイベントであり、来年度も更に力を入れて積極参加していきたく考えています。





本学ブースの風景

※びわ湖環境ビジネスメッセ
総来場者数　35,500 名

その他、下記イベントへの出展を実施しました。
2012 年 10 月 17 日（水）～18 日（木）
「中信ビジネスフェア」
2012 年 10 月 25 日（木）
「異業種京都きょうとまつり」
2012 年 11 月 15 日（木）
「京都産学公連携フォーラム 2012」
12 月には 3 つのイベントへの出展を予定しており、大学の PR 及び産学連携に繋げられる機会を有効活用していきます。

ご報告 福祉フォーラム 2012「世代間共生のゆくえ」～上野千鶴子氏、阿部真大氏による対談～を開催しました

福祉フォーラム 2012『世代間共生のゆくえ　若者の居場所・中高年の居場所－私たちはわかりあえるのか－』を 11 月 17 日(土)に開催しました。

第 1 部の講演では、阿部氏によるロスジェネ世代（ロストジェネレーション：バブル崩壊後の失われた 10 年に就職活動を実施した世代）の労働問題などをとりあげ、若者の居場所についてご講演いただきました。その後、上野氏から「高齢世代をどのように生きるか、また社会はどの様に対応すべきか、居場所とは何か」といった内容のご講演がありました。

第 2 部では、上野氏、阿部氏の師弟対談を実施しました。日頃から、それぞれの世代の「生き方」について提言されるお二人の対談でしたが、阿部氏の意見に対する上野氏の返答に、上野ゼミの指導の様子をかいま見た気がしました。

当日はあいにくの雨模様となりましたが、約 250 名をこえる方にご参加いただきました。また、対談終了後には阿部氏と近い距離でお話しいただける懇親会を開催し、短い時間でしたが講師と参加者が意見交換をする機会になりました。



上野氏講演の様子



会場の様子

ご報告 京阪・文化フォーラム「信仰とお笑いの狭間に落語」を開催（REC 共催事業）

11 月 17 日（土）、深草キャンパス顕真館にて阪電気鉄道株式会社が主催する「京阪・文化フォーラム」に REC が共催し、「信仰とお笑いの狭間に落語」を開催しました。

京阪・文化フォーラムは、京阪沿線にまつわる歴史や文化を中心に注目の話題をテーマとして各専門家を招いて年 3 回開催される講演会。今回のテーマは「信仰とお笑いの狭間に落語」、笑福亭福笑氏、林家染雀氏、笑福亭たま氏による宗教・信仰に関わる落語、釈徹宗氏、高島幸次氏、笑福亭福笑氏による鼎談（ていだん）を開催しました。

落語は仏教のお説教からはじまったとも言われており、龍谷大学の礼拝堂である顕真館を会場に開催するにあたり、本学卒業生であり今回のフォーラムのコーディネータでもある高島幸次氏がテーマを発案。3 席の落語では笑いが絶えず、また鼎談では落語のルーツを、ユーモアを交えながら探る　内容に、聴衆は真剣に聞き入りました。



笑福師匠による落語の様子

雨にもかかわらず顕真館が満員となった今回のフォーラム。参加者の大半が「龍谷大学に来るのが初めて」という実態からも、REC の生涯学習事業が地域社会に対して果たす役割はまだまだあることを、改めて考えさせられた時間でした。

12 月の REC 活動

12 月　8 日(土)龍谷ジュニアキャンパス「野球教室」
　　プレゼン龍 2012（13:30～於:21 号館）
12 月 15 日(土)REC コミュニティカレッジ東京
　　「親鸞と浄土教－浄土教と証」
　　龍谷講座文学部臨床心理学科開設記念連携講座
　　『聴いていると聴いているつもりのちがい
　　－伏見区の事例から－』
　　龍谷ジュニアキャンパス「サッカー教室」
12 月 22 日(土)REC コミュニティカレッジ東京
　　「近江の仏教美術－真宗の美術」
　　龍谷講座文学部臨床心理学科開設記念連携講座
　　『高齢者支援－家族と地域のかかわり』

REC NEWS LETTER　Vol.71
編集：ＲＥＣ事務部
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

● ＲＥＣ滋　賀　ＲＥＣホール　（内線 7279）
● ＲＥＣ京　都　紫光館５階　（内線 6505）
● ＲＥＣ東大阪　クリエイション・コア東大阪
　産学連携ｵﾌｨｽ 2212 号（06-6748-8228）



REC NEWS LETTER は毎月発行。
次回は 12 月 21 日頃発行します。
★バックナンバーは龍谷大学 HP→教職員向けサイト→REC 京都サイトをご覧ください。